

# モニタリング項目の目標値変更（案）

No	モニタリング	基準値 (年)	目標値 (R5)	最終目標値 (案) (R6)	目標値の変更	最終目標値の計算式	目標値の設定理由
1	過去1年間において1回以上文化芸術の鑑賞を行った市民の割合	65.9% (2018)	80.0%	80.0%		—	10人中8人が文化芸術を鑑賞している状態にすることを目標としました。
2	自ら文化芸術活動を行っている市民の割合	30.5% (2018)	40.0%	42.0%	○	(基準値)30.5% + 2*6 = 42.5 ※小数点第1位を切下げ	各事業において、文化芸術を体験する機会を増やし、毎年2%程度ずつ伸ばすことを目標としました。
3	文化や芸術活動が盛んに行われていると思う市民の割合【総合計画掲載指標】	45.7% (2016)	59.5%	61.5%	○	(基準値)45.7% + 2*8 = 61.7 ※小数点第1位を丸める	文化芸術振興のための取り組みを推進し、毎年2%程度ずつ伸ばすことを目標としました。
4	大和市の歴史や文化は、しっかりと継承されていると思う市民の割合【総合計画掲載指標】	38.3% (2016)	45.5%	46.5%	○	(基準値)38.3% + 1*8 = 46.3 ※小数点第1位を丸める	文化財に対する関心を高める取り組みを進め、毎年1%程度ずつ伸ばすことを目標としました。
5	歴史文化施設の利用者数【総合計画掲載指標】	54,443人 (2017)	61,200人	61,200人		—	郷土民家園（カウンター数）、つる舞の里歴史資料館、下鶴間歴史資料館3館の入園、入館者数を過去5年の最高値（61,216人）を目標としました。
6	つる舞の里歴史資料館企画展の認知状況	13.8% (2018)	20.0%	21.0%	○	(R5目標値)20% + 1 = 21	本イベントの魅力をもPRし、認知状況を毎年1%程度ずつ伸ばすことを目標としました。
7	市立小・中学校の文化芸術鑑賞・体験1校あたりの実施回数	4.7回 3.4回+1.3回 (2017)	5.0回 3.6回+1.4回	5.0回 3.6回+1.4回		(基準値)3.4 + (1/28校 * 2/3*7) = 3.566 → 3.6 (基準値)1.3 + (1/28校 * 1/3*7) = 1.383 → 1.4 3.6 + 1.4 = 5.0	芸術鑑賞授業、対話による美術鑑賞授業をすでに全小学校実施していることや授業時間数に限りがあることから、毎年いずれかの学校で1回程度ずつ増やすことを目標としました。
8	対話による美術鑑賞ガイドスタッフ1人当たりの児童数	5.9人 (2017)	5.0人	5.0人		—	子どもたちに質の高い美術鑑賞授業を提供するために必要なガイドスタッフの派遣人数（学校授業13人程度、美術館訪問16人程度）を確保することを目標としました。
9	美術館等で対話による美術鑑賞を行った児童が美術作品に興味を持った割合	80.6% (2018)	85.5%	86.5%	○	(基準値)80.6% + 1*6 = 86.6 ※小数点第1位を丸める	日ごろの授業を通して、児童が美術作品へ興味を持てるよう指導し、毎年1%程度ずつ伸ばすことを目標としました。
10	仮称：やまと文化芸術サポーター制度の設立	—	制度設立	制度設立		—	誰もが文化芸術の担い手として主体的に参加できる仕組みを制度化することを目標としました。
11	イラストレーションデザインコンペの年間応募者数	343件 (2018)	470件	470件		—	過去5年の最高値（463件）を踏まえ、それを上回ることを目標としました。
12	イラストレーションデザインコンペ入賞者への年間制作依頼件数	22件 (2017)	40件	43件	○	22件 + 3*7 = 43	毎年3件ずつ増やしていくことを目標としました。
13	やまと子ども伝統文化塾の受講者数	1,356人 (2018)	2,200人	2,200人		(2017年実績値)1063 * 2 = 2,126 → 2,200	過去5年間の最高年間受講者数（200人程度）を踏まえ、日本の伝統文化を習得した子どもを倍以上にすることを目標としました。
14	文化芸術イベント全体の認知状況	62.9% (2018)	75.0%	77.0%	○	(R5目標値)75% + 2 = 77	あらゆる情報媒体を活用するなど、文化芸術イベントを周知する取り組みを推進し、毎年2%程度ずつ伸ばすことを目標としました。
15	やまと芸術文化ホール年間利用者数【総合計画掲載指標】	306,018人 (2017)	324,000人	327,000人	○	(基準値)306,018人 * 1.07 = 327,439.26 → 327,000 ※百の位を四捨五入	文化芸術振興のための取り組みを推進し、毎年1%ずつ伸ばすことを目標としました。
16	やまと芸術文化ホールホームページ年間アクセス件数	594,284件 (2017)	598,000件	598,500件	○	(基準値)594,284件 * 1.007 = 598,444 → 598,500 ※百の位を丸める	文化芸術振興のための取り組みを推進し、毎年1%ずつ伸ばすことを目標としました。
17	YAMATO ART100として採用した文化芸術イベント数【総合計画掲載指標】	102件 (2018)	100件以上	100件以上		—	過去5年の最多採用数（103件）を踏まえ、現状を維持することを目標としました。
18	多文化共生・国際交流が行われていると思う市民の割合【総合計画掲載指標】	22.3% (2016)	29.5%	30.5%	○	(基準値)22.3% + 1*8 = 30.3 → 30.5 ※小数点第1位を丸める	第2期計画期間中の達成状況を踏まえ、毎年1%程度ずつ伸ばすことを目標としました。
19	文化芸術に期待する役割に「多文化共生」を挙げる市民の割合	13.7% (2018)	20.0%	21.0%	○	(R5目標値)20% + 1 = 21	文化芸術による多文化共生社会の実現に貢献する活動を推進し、毎年1%程度ずつ伸ばすことを目標としました。
20	やまと世界料理の屋台村の認知状況	16.3% (2018)	35.0%	35.0%		—	国際化協会と協力し、本イベント魅力をもPRし、2018年度の調査時に認知状況が最も高い大和市文化祭一般公募展（33.0%）を上回ることを目標としました。